

プリンタ YDP50 と旧型電子天びんの接続方法・注意点

(本資料は 25 ピンのインターフェースを搭載している、すでに販売中止となっている旧型の電子天びんとプリンタ YDP50 を接続・設定するための補足説明書となります。
Secura/Quintix/Practum はミニ USB インターフェース搭載天びんとなり、該当しません。)

① 天びんとプリンタを接続

- ・旧型天びんと YDP50 を接続するには、ザルトリウスの接続ケーブル「J1-L60002P」が必要です。(旧型プリンタ YDP20-0CE 付属の接続ケーブルは使用しないでください。このケーブルで接続した場合には、最悪故障につながる可能性があるためご注意ください。)
- ・J1-L60002P ケーブル(天びん側 25 ピン-プリンタ側 9 ピン)を使用し、接続します。

② 天びん・プリンタでの接続設定について

- ・プリンタ YDP50 は下記の通信設定を持っており、変更はできません
(旧型プリンタ YDP20-0CE と同じ通信設定となります)
 - ・コミュニケーションモード : SBI
 - ・ボーレート : 1200
 - ・データビット数 : 7 Bit
 - ・パリティ : 奇数 (ODD)
 - ・ストップビット数 : 1 Stop Bit
 - ・ハンドシェイク : ハードウェア
- ・天びん側の通信設定を上記プリンタの通信設定と同じに設定することでプリンタを稼働させることができます
 - ・下記のいずれかの方法で天びんとプリンタの通信設定を合わせてください
(A) 天びんの取説をご参照いただき、各項目をプリンタの通信と同じ設定に変更
(B) 天びんを工場出荷時設定へリセット (デフォルト設定で YDP50 は稼働します)
- ・また天びん側の設定が下記のように設定されているかご確認いただき、もし設定されていない場合にはプリント出力のラインフォーマットを 22 文字に変更してください
 - ・プリント出力のラインフォーマット : 22 文字 (ID コード付き)

③ GLP 印刷を採用するかどうかの決定(日時を印字したい場合)

- ・②までの設定でプリンタは稼働できるようになりますが、印字は「例 : N+123.45g」と重量値のみの印字となります
- ・もし日時も合わせて印字したい場合には、天びん側の設定項目「ISO/GLP/GMP プリント出力」の設定を「常時オン Always on」に変更してください

- ・この設定とした場合には重量値以外にヘッダー（天びん情報とひょう量開始日時）とフッター（ひょう量終了日時と署名欄）が同時に印字されるようになります
- ・また内部校正調整（キャリブレーション）を実施した際にも、ヘッダーフッター付きのキャリブレーション記録が印字されます
- ・これ以外に日時を印刷する方法はございません

- ・旧型天びんの機種によっては、天びん自体に時計や GLP 印刷機能を搭載していない機種があり、日時を印刷できない機種もございます（日時も合わせて印刷したい場合には、申し訳ございませんが、天びん更新のご検討をお願いいたします）

※ GLP 印刷、日時の印字ができない旧型天びん一例：1702、1712、A、B、E、H、L、M、R、S、U、AC、AX、AY、AZ、BA、BJ、BP、EC、ED、ELT、Entris、GD、IC、LC、LP、Practum、PT、RC、TE、VIC シリーズ

※ 可能な旧型天びん一例：AC-MS、CP、CPA、GC、LA、LC-MS、LE、MC、ME、SE、Cubis I (MSA、MSU、MSE)、Quintix、Secura シリーズ

（すべてのシリーズを記載できてはおりません）

④ 統計データやナンバリングの印字をしたい場合（旧型プリンタ YDP20-0CE は、プリンタ自体の機能として統計、ナンバリング機能を搭載しておりましたが YDP50 は未搭載）

- ・統計データを印字する場合

天びん側のアプリケーションプログラムにて「統計」を採用し、運用してください
（天びんごとに設定方法が変わりますので、取説をご参照ください）

※ 統計データの印字ができない旧型天びん一例：1702、1712、A、B、E、H、L、M、R、S、U、AC、AX、AY、AZ、BA、BJ、BP、CP、CPA、EC、ED、ELT、Entris、GC、GD、IC、LC、LE、LP、MC、PT、RC、TE、VIC、MSE、Practum シリーズ

※ 可能な旧型天びん一例：AC-MS、LC-MS、LA、ME、SE、MSA、MSU、Quintix、Secura シリーズ

（すべてのシリーズを記載できてはおりません）

- ・ひょう量データにナンバリングの印字をする場合

基本的に旧型天びんはナンバリングする機能は持っていませんが、一部テンキーを搭載した天びんに限り、テンキーで入力した文字の印字が可能です

※ ナンバリングの印字が可能な旧型天びん一例：LA、LP、ME、SE、MSA、MSU、Secura シリーズ（すべてのシリーズを記載できてはおりません）

ザルトリウス・ジャパン株式会社
セールス プロダクトスペシャリストチーム